



# こんな事故が起こっています

**！ 長時間過ごす場所が多いです！**

## 場所別

### 幼稚園

- 第1位 園庭
- 第2位 教室
- 第3位 廊下

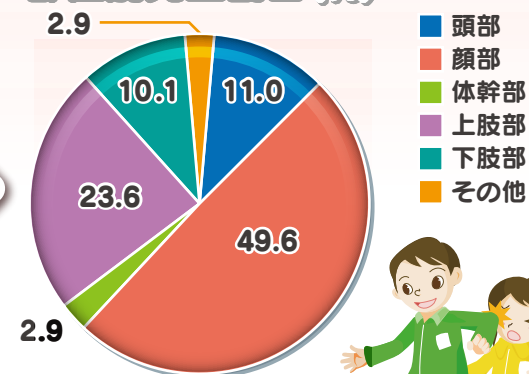
### 保育所

- 第1位 保育室
- 第2位 園庭
- 第3位 遊戯室

- 「頭部・顔部」、  
「上肢部」で80%以上です。
- 「挫傷・打撲・挫創」は  
約半分に上ります。

平成24年度災害共済給付(医療費)データより

## 部位別発生割合(%)



**！ すべり台、総合遊具・アスレチック、鉄棒のけがが多いです！**

## 遊具別

### 幼稚園

- 第1位 すべり台
- 第2位 総合遊具・アスレチック
- 第3位 鉄棒
- 第4位 雲てい
- 第5位 砂場

### 保育所

- 第1位 すべり台
- 第2位 鉄棒
- 第3位 総合遊具・アスレチック
- 第4位 砂場
- 第5位 雲てい



幼稚園・保育所では、毎年、平均約**60,000件**(過去5年間)の事故が発生し、年齢が上がるにつれて多くなる傾向があります。

特に、**5月と10月**に多く、**幼稚園**では、**10-11時**と**13-14時**、**保育所**では、**10-11時**と**16-17時**に多くなっています。

### 環境を安全に整える

保育室・教室では、玩具の取り合いなどでのトラブルが事故につながることも多く、遊具の数や出すタイミングを凶る必要があります。また、保育室・教室での転倒を防ぐためにも、整理整頓を心がけましょう。

人気の遊具では、落下による事故が多く発生しています。マット、芝、砂を敷くなど地面を柔らかくしておくといでしょう。遊び方のルールを伝えるとともに子ども同士でルールを決めるなど、事前の安全指導が重要です。

参考：学校の管理下の災害[平成25年版]



### 乳幼児のけがを防ぐには

転倒、転落を起こしやすく、頭部を打撲することが多いです。幼児の事故の約6割が首から上の部位に集中しています。

事故が発生する前に、幼児の転倒転落を予測した事故防止策を講じる必要があります。

参考：学校の管理下の災害[平成25年版]

### 約束を守らせる

- ★ 順番を守らせる。
- ★ 遊具の使い方を守らせる。
- ★ 遊具で遊ぶ幼児のそばに近づかせない。
- ★ ものを持ったまま遊ばせない。
- ★ 遊具の下に物を置かせない。
- ★ 動きやすい服装と靴で遊ばせる。



※「教師のための遊具点検10か条」を教材カード平成24年4月に掲載しています。